

2023 年夏休み・お盆のおでかけ指数

～前年を上回るも台風・猛暑で伸びは小さく

2023 年 8 月 30 日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調 DATASALAD (<https://datasalad.jp/>) では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

本稿では、当会が提供している人流モニタリングプラットフォーム「おでかけウォッチャー」(<https://odekake-watcher.info/>) の掲載データ¹の一部を集約した「おでかけ指数²」により、2023 年の夏休み期間（海の日 3 連休の初日～8 月 20 日）・お盆期間（8 月 11 日～15 日）における全国の観光人流動向を分析する。

なお、DATASALAD 上では、来訪地側（着地側）と発地側の 2 種類の「おでかけ指数」を公表しているが、本稿では主に来訪地側を取り上げる。また、インバウンドを除く日本人のみを集計対象とし、事前に指定したモニタリングスポットへの観光来訪者数を集計している。



1. 全国・地域ブロック別おでかけ指数：全国は夏休み・お盆ともに前年をわずかに上回る

2023 年夏休み期間における全国のおでかけ指数は 62.8 で前年比+3.8%となった。また、お盆期間の全国のおでかけ指数は 82.6 で前年比+1.9%となった（表 1）。

おでかけ指数（全国）前年比の推移をみると、2022 年に大きく上昇したのち、2023 年はおおむね伸び率ゼロ近傍となり、6 月には 19 カ月ぶりに前年を下回った（図 1）。夏休みの旅行シーズンとなり、前年比は再びプラスに転じたものの、猛暑やガゾリン等の物価高、宿泊施設の人手不足等の供給制約が重しとなり、小幅な上昇に留まった。またお盆については、台風（6 号・7 号）の接近に伴う交通機関の運休・道路通行止めにより、観光目的の外出を控える動きがみられたことから、伸び幅は更に小さくなった。

夏休みのおでかけ指数を地域ブロック別にみると、前年比は 12 地域のうち 9 地域でプラスとなり、北陸（前年比+14.0%）、東北（同+12.9%）、中国（同+7.8%）の順に高くなった。北海道（同▲0.6%）、近畿（同▲1.2%）、沖縄（同▲9.0%）の 3 地域では前年を下回ったが、このうち北海道は 2019 年同期比が地域ブロック別で最も高く、コロナ禍からの回復が先行している地域である（表 2）。一方、近畿、沖縄は 2019 年同期比も低く、特に沖縄は台風 6 号が沖縄近海に長期間とどまった影響が大きかった。

お盆のおでかけ指数を地域ブロック別にみると、前年比は東北（前年比+23.8%）、北陸（同+12.0%）、九州（同+9.5%）の順に高くなった。一方で、前年比マイナスとなった東海（同▲6.5%）、近畿（同▲14.5%）では台風 7 号による影響を大きく受けた。

¹ 「おでかけウォッチャー」で提供している位置情報ビッグデータは、株式会社プログウォッチャーより提供を受けたものであり、承諾を得たユーザー（月間 2,500 万 MAU）のスマートフォンから取得したものである。

² おでかけ指数は、新型コロナウイルス感染拡大前である 2019 年の日平均を 100 とした指数である。また、夏休み期間、お盆期間の各地域における日次おでかけ指数（原数値）の平均を夏休み期間おでかけ指数とする

表1 地域ブロック別おでかけ指数

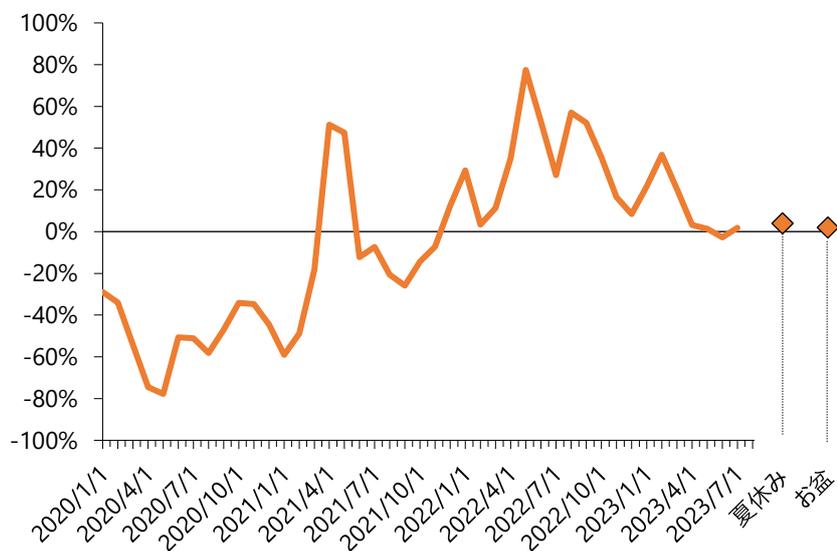
地域	2023年 夏休み		2023年 お盆	
	前年比	前年比	前年比	前年比
全国	62.8	+ 3.8%	82.6	+ 1.9%
北海道	96.8	▲ 0.6%	151.1	+ 1.8%
東北	87.7	+ 12.9%	143.0	+ 23.8%
北関東	71.5	+ 3.2%	102.9	+ 0.0%
南関東	48.8	+ 4.7%	50.9	+ 4.1%
甲信越	92.1	+ 5.0%	143.1	+ 4.6%
東海	63.2	+ 1.1%	76.4	▲ 6.5%
北陸	80.7	+ 14.0%	127.1	+ 12.0%
近畿	56.8	▲ 1.2%	66.1	▲ 14.2%
中国	76.0	+ 7.8%	121.2	+ 5.7%
四国	79.1	+ 3.6%	131.8	+ 1.9%
九州	71.3	+ 5.0%	110.2	+ 9.5%
沖縄	58.3	▲ 9.0%	74.3	+ 2.8%

注) 各地域・各期間における日次おでかけ指数（原数値）の平均値

注) 2023年8月20日までのデータによる推計値

資料) 九経調 DATASALAD

図1 おでかけ指数（全国・前年比）の推移



注) 夏休み・お盆期間の値は各地域・各期間における日次おでかけ指数（原数値）の平均値

注) 2023年8月20日までのデータによる推計値

資料) 九経調 DATASALAD

表2 夏休み期間おでかけ指数（地域ブロック別） 前年比・2019年同期比によるソート

< 前年比順 >

順位	地域	2023年 夏休み	前年比	2019年 同期比
1	北陸	80.7	+ 14.0%	▲ 38.0%
2	東北	87.7	+ 12.9%	▲ 35.2%
3	中国	76.0	+ 7.8%	▲ 36.4%
4	九州	71.3	+ 5.0%	▲ 36.8%
5	甲信越	92.1	+ 5.0%	▲ 36.8%
6	南関東	48.8	+ 4.7%	▲ 52.2%
7	四国	79.1	+ 3.6%	▲ 35.5%
8	北関東	71.5	+ 3.2%	▲ 40.2%
9	東海	63.2	+ 1.1%	▲ 44.2%
10	北海道	96.8	▲ 0.6%	▲ 33.9%
11	近畿	56.8	▲ 1.2%	▲ 47.0%
12	沖縄	58.3	▲ 9.0%	▲ 50.0%

< 2019年同期比順 >

順位	地域	2023年 夏休み	前年比	2019年 同期比
1	北海道	96.8	▲ 0.6%	▲ 33.9%
2	東北	87.7	+ 12.9%	▲ 35.2%
3	四国	79.1	+ 3.6%	▲ 35.5%
4	中国	76.0	+ 7.8%	▲ 36.4%
5	甲信越	92.1	+ 5.0%	▲ 36.8%
6	九州	71.3	+ 5.0%	▲ 36.8%
7	北陸	80.7	+ 14.0%	▲ 38.0%
8	北関東	71.5	+ 3.2%	▲ 40.2%
9	東海	63.2	+ 1.1%	▲ 44.2%
10	近畿	56.8	▲ 1.2%	▲ 47.0%
11	沖縄	58.3	▲ 9.0%	▲ 50.0%
12	南関東	48.8	+ 4.7%	▲ 52.2%

注) 各地域・各期間における日次おでかけ指数（原数値）の平均値
 注) 2023年8月20日までのデータによる推計値
 資料) 九経調 DATASALAD

表3 お盆期間おでかけ指数（地域ブロック別） 前年比・2019年同期比によるソート

< 前年比順 >

順位	地域	2023年 お盆	前年比	2019年 同期比
1	東北	143.0	+ 23.8%	▲ 45.4%
2	北陸	127.1	+ 12.0%	▲ 49.0%
3	九州	110.2	+ 9.5%	▲ 37.4%
4	中国	121.2	+ 5.7%	▲ 41.7%
5	甲信越	143.1	+ 4.6%	▲ 49.8%
6	南関東	50.9	+ 4.1%	▲ 55.2%
7	沖縄	74.3	+ 2.8%	▲ 46.3%
8	四国	131.8	+ 1.9%	▲ 39.2%
9	北海道	151.1	+ 1.8%	▲ 43.2%
10	北関東	102.9	+ 0.0%	▲ 52.1%
11	東海	76.4	▲ 6.5%	▲ 54.4%
12	近畿	66.1	▲ 14.2%	▲ 53.4%

< 2019年同期比順 >

順位	地域	2023年 お盆	前年比	2019年 同期比
1	九州	110.2	+ 9.5%	▲ 37.4%
2	四国	131.8	+ 1.9%	▲ 39.2%
3	中国	121.2	+ 5.7%	▲ 41.7%
4	北海道	151.1	+ 1.8%	▲ 43.2%
5	東北	143.0	+ 23.8%	▲ 45.4%
6	沖縄	74.3	+ 2.8%	▲ 46.3%
7	北陸	127.1	+ 12.0%	▲ 49.0%
8	甲信越	143.1	+ 4.6%	▲ 49.8%
9	北関東	102.9	+ 0.0%	▲ 52.1%
10	近畿	66.1	▲ 14.2%	▲ 53.4%
11	東海	76.4	▲ 6.5%	▲ 54.4%
12	南関東	50.9	+ 4.1%	▲ 55.2%

注) 各地域・各期間における日次おでかけ指数（原数値）の平均値
 注) 2023年8月20日までのデータによる推計値
 資料) 九経調 DATASALAD

3. 都道府県別のおでかけ指数：前年比は東北・北陸の各県で高く、近畿の各県で低い傾向

2023年の夏休み期間・お盆期間のおでかけ指数を47都道府県別比較する(表4)。夏休み期間のおでかけ指数前年比が最も高かったのは福井県(前年比+18.5%)で、以下青森県(同+18.1%)、島根県(同+16.5%)と続く(表4、表5)。福井県ではあわら市、美浜町などで昨年から来訪者が増加したほか、青森県ではねぶた祭り期間(8月2日~7日)に指数が大きく上昇し、全体に寄与した。

お盆期間のおでかけ指数前年比が最も高かったのは秋田県(前年比+44.1%)で、以下青森県(同+38.9%)、山形県(同+34.9%)と東北各県が上位を占めた(表4、表6)。一方で近畿の各県では、台風7号の影響によるお盆期間の来訪者数減少が大きく、多くの府県でお盆期間・夏休み期間ともに前年比マイナスとなっている。

表4 都道府県別おでかけ指数

地域	2023年夏休み		2023年お盆		地域	2023年夏休み		2023年お盆	
	前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前年比	前年比	前年比
全国	62.8	+ 3.8%	82.6	+ 1.9%	三重県	60.9	▲ 1.4%	73.1	▲ 16.8%
北海道	96.8	▲ 0.6%	151.1	+ 1.8%	滋賀県	64.8	▲ 3.0%	82.6	▲ 16.5%
青森県	105.0	+ 18.1%	169.0	+ 38.9%	京都府	56.5	▲ 6.5%	68.4	▲ 20.5%
岩手県	91.0	+ 9.9%	151.2	+ 15.1%	大阪府	51.6	+ 2.7%	51.8	▲ 8.6%
宮城県	75.0	+ 13.3%	112.0	+ 14.8%	兵庫県	59.2	▲ 0.9%	75.1	▲ 13.2%
秋田県	87.9	+ 7.7%	165.6	+ 44.1%	奈良県	67.5	▲ 1.6%	88.7	▲ 15.4%
山形県	89.4	+ 15.7%	160.5	+ 34.9%	和歌山県	72.6	▲ 6.9%	100.2	▲ 21.0%
福島県	89.8	+ 12.5%	139.9	+ 14.1%	鳥取県	84.1	+ 9.8%	139.6	+ 2.0%
茨城県	66.8	+ 0.2%	93.3	▲ 2.5%	島根県	80.5	+ 16.5%	130.1	+ 10.5%
栃木県	71.2	+ 4.4%	104.5	+ 2.3%	岡山県	69.3	+ 3.4%	103.3	▲ 2.7%
群馬県	78.1	+ 5.7%	114.1	+ 0.8%	広島県	75.8	+ 9.7%	118.8	+ 11.5%
埼玉県	52.6	▲ 0.6%	66.4	+ 0.4%	山口県	80.4	+ 4.0%	141.7	+ 5.9%
千葉県	56.1	+ 2.1%	75.8	+ 1.6%	徳島県	76.0	+ 1.2%	130.7	▲ 3.6%
東京都	46.0	+ 5.7%	42.8	+ 5.7%	香川県	69.0	▲ 3.9%	105.1	▲ 1.8%
神奈川県	54.5	+ 5.6%	61.9	+ 3.0%	愛媛県	81.2	+ 10.6%	137.9	+ 7.3%
新潟県	89.0	+ 9.4%	147.7	+ 19.4%	高知県	90.7	+ 3.9%	155.8	+ 2.2%
富山県	81.5	+ 11.7%	135.6	+ 13.1%	福岡県	67.4	+ 5.1%	93.2	+ 6.9%
石川県	73.0	+ 12.4%	114.6	+ 11.5%	佐賀県	66.3	+ 7.5%	103.6	+ 12.7%
福井県	93.5	+ 18.5%	141.0	+ 11.6%	長崎県	74.2	+ 4.9%	130.7	+ 16.1%
山梨県	86.9	▲ 5.5%	114.8	▲ 10.4%	熊本県	81.4	+ 8.6%	131.0	+ 12.1%
長野県	97.7	+ 7.3%	154.5	+ 0.7%	大分県	74.4	▲ 1.3%	132.1	+ 4.6%
岐阜県	76.8	▲ 0.9%	115.5	▲ 7.3%	宮崎県	76.6	+ 2.9%	130.1	+ 6.4%
静岡県	67.9	+ 3.0%	83.5	▲ 6.7%	鹿児島県	72.3	+ 5.3%	121.8	+ 15.2%
愛知県	57.2	+ 1.0%	62.7	▲ 2.0%	沖縄県	58.3	▲ 9.0%	74.3	+ 2.8%

注) 各地域・各期間における日次おでかけ指数(原数値)の平均値

注) 2023年8月20日までのデータによる推計値

資料) 九経調 DATASALAD

表5 夏休み期間おでかけ指数（都道府県別） 前年比・2019年同期比によるソート

< 前年比順 >

順位	地域	2023年 夏休み	前年比・2019年 同期比	
			前年比	2019年 同期比
1	福井県	93.5	+ 18.5%	▲ 35.1%
2	青森県	105.0	+ 18.1%	▲ 32.3%
3	島根県	80.5	+ 16.5%	▲ 34.6%
4	山形県	89.4	+ 15.7%	▲ 36.4%
5	宮城県	75.0	+ 13.3%	▲ 38.0%
6	福島県	89.8	+ 12.5%	▲ 31.9%
7	石川県	73.0	+ 12.4%	▲ 41.2%
8	富山県	81.5	+ 11.7%	▲ 35.9%
9	愛媛県	81.2	+ 10.6%	▲ 34.1%
10	岩手県	91.0	+ 9.9%	▲ 33.3%
11	鳥取県	84.1	+ 9.8%	▲ 40.5%
12	広島県	75.8	+ 9.7%	▲ 33.5%
13	新潟県	89.0	+ 9.4%	▲ 35.2%
14	熊本県	81.4	+ 8.6%	▲ 31.7%
15	秋田県	87.9	+ 7.7%	▲ 39.6%
16	佐賀県	66.3	+ 7.5%	▲ 38.3%
17	長野県	97.7	+ 7.3%	▲ 34.7%
18	東京都	46.0	+ 5.7%	▲ 53.2%
19	群馬県	78.1	+ 5.7%	▲ 37.4%
20	神奈川県	54.5	+ 5.6%	▲ 49.8%
21	鹿児島県	72.3	+ 5.3%	▲ 38.7%
22	福岡県	67.4	+ 5.1%	▲ 37.7%
23	長崎県	74.2	+ 4.9%	▲ 39.6%
24	栃木県	71.2	+ 4.4%	▲ 41.3%
25	山口県	80.4	+ 4.0%	▲ 33.1%
26	高知県	90.7	+ 3.9%	▲ 29.0%
27	岡山県	69.3	+ 3.4%	▲ 41.1%
28	静岡県	67.9	+ 3.0%	▲ 45.2%
29	宮崎県	76.6	+ 2.9%	▲ 33.7%
30	大阪府	51.6	+ 2.7%	▲ 49.7%
31	千葉県	56.1	+ 2.1%	▲ 50.3%
32	徳島県	76.0	+ 1.2%	▲ 38.5%
33	愛知県	57.2	+ 1.0%	▲ 45.2%
34	茨城県	66.8	+ 0.2%	▲ 41.8%
35	埼玉県	52.6	▲ 0.6%	▲ 52.0%
36	北海道	96.8	▲ 0.6%	▲ 33.9%
37	兵庫県	59.2	▲ 0.9%	▲ 47.2%
38	岐阜県	76.8	▲ 0.9%	▲ 37.5%
39	大分県	74.4	▲ 1.3%	▲ 37.0%
40	三重県	60.9	▲ 1.4%	▲ 45.1%
41	奈良県	67.5	▲ 1.6%	▲ 37.8%
42	滋賀県	64.8	▲ 3.0%	▲ 44.4%
43	香川県	69.0	▲ 3.9%	▲ 41.1%
44	山梨県	86.9	▲ 5.5%	▲ 43.0%
45	京都府	56.5	▲ 6.5%	▲ 44.8%
46	和歌山県	72.6	▲ 6.9%	▲ 43.2%
47	沖縄県	58.3	▲ 9.0%	▲ 50.0%

< 2019年同期比順 >

順位	地域	2023年 夏休み	前年比・2019年 同期比	
			前年比	2019年 同期比
1	高知県	90.7	+ 3.9%	▲ 29.0%
2	熊本県	81.4	+ 8.6%	▲ 31.7%
3	福島県	89.8	+ 12.5%	▲ 31.9%
4	青森県	105.0	+ 18.1%	▲ 32.3%
5	山口県	80.4	+ 4.0%	▲ 33.1%
6	岩手県	91.0	+ 9.9%	▲ 33.3%
7	広島県	75.8	+ 9.7%	▲ 33.5%
8	宮崎県	76.6	+ 2.9%	▲ 33.7%
9	北海道	96.8	▲ 0.6%	▲ 33.9%
10	愛媛県	81.2	+ 10.6%	▲ 34.1%
11	島根県	80.5	+ 16.5%	▲ 34.6%
12	長野県	97.7	+ 7.3%	▲ 34.7%
13	福井県	93.5	+ 18.5%	▲ 35.1%
14	新潟県	89.0	+ 9.4%	▲ 35.2%
15	富山県	81.5	+ 11.7%	▲ 35.9%
16	山形県	89.4	+ 15.7%	▲ 36.4%
17	大分県	74.4	▲ 1.3%	▲ 37.0%
18	群馬県	78.1	+ 5.7%	▲ 37.4%
19	岐阜県	76.8	▲ 0.9%	▲ 37.5%
20	福岡県	67.4	+ 5.1%	▲ 37.7%
21	奈良県	67.5	▲ 1.6%	▲ 37.8%
22	宮城県	75.0	+ 13.3%	▲ 38.0%
23	佐賀県	66.3	+ 7.5%	▲ 38.3%
24	徳島県	76.0	+ 1.2%	▲ 38.5%
25	鹿児島県	72.3	+ 5.3%	▲ 38.7%
26	長崎県	74.2	+ 4.9%	▲ 39.6%
27	秋田県	87.9	+ 7.7%	▲ 39.6%
28	鳥取県	84.1	+ 9.8%	▲ 40.5%
29	香川県	69.0	▲ 3.9%	▲ 41.1%
30	岡山県	69.3	+ 3.4%	▲ 41.1%
31	石川県	73.0	+ 12.4%	▲ 41.2%
32	栃木県	71.2	+ 4.4%	▲ 41.3%
33	茨城県	66.8	+ 0.2%	▲ 41.8%
34	山梨県	86.9	▲ 5.5%	▲ 43.0%
35	和歌山県	72.6	▲ 6.9%	▲ 43.2%
36	滋賀県	64.8	▲ 3.0%	▲ 44.4%
37	京都府	56.5	▲ 6.5%	▲ 44.8%
38	三重県	60.9	▲ 1.4%	▲ 45.1%
39	静岡県	67.9	+ 3.0%	▲ 45.2%
40	愛知県	57.2	+ 1.0%	▲ 45.2%
41	兵庫県	59.2	▲ 0.9%	▲ 47.2%
42	大阪府	51.6	+ 2.7%	▲ 49.7%
43	神奈川県	54.5	+ 5.6%	▲ 49.8%
44	沖縄県	58.3	▲ 9.0%	▲ 50.0%
45	千葉県	56.1	+ 2.1%	▲ 50.3%
46	埼玉県	52.6	▲ 0.6%	▲ 52.0%
47	東京都	46.0	+ 5.7%	▲ 53.2%

注) 各地域・各期間における日次おでかけ指数（原数値）の平均値

注) 2023年8月20日までのデータによる推計値

資料) 九経調 DATASALAD

表6 お盆期間おでかけ指数（都道府県別） 前年比・2019年同期比によるソート

< 前年比順 >

順位	地域	2023年 お盆	前年比・2019年 同期比	
			前年比	2019年 同期比
1	秋田県	165.6	+ 44.1%	▲ 46.5%
2	青森県	169.0	+ 38.9%	▲ 44.0%
3	山形県	160.5	+ 34.9%	▲ 46.1%
4	新潟県	147.7	+ 19.4%	▲ 44.7%
5	長崎県	130.7	+ 16.1%	▲ 43.7%
6	鹿児島県	121.8	+ 15.2%	▲ 35.1%
7	岩手県	151.2	+ 15.1%	▲ 45.1%
8	宮城県	112.0	+ 14.8%	▲ 46.1%
9	福島県	139.9	+ 14.1%	▲ 44.9%
10	富山県	135.6	+ 13.1%	▲ 46.0%
11	佐賀県	103.6	+ 12.7%	▲ 44.0%
12	熊本県	131.0	+ 12.1%	▲ 34.1%
13	福井県	141.0	+ 11.6%	▲ 49.2%
14	広島県	118.8	+ 11.5%	▲ 36.4%
15	石川県	114.6	+ 11.5%	▲ 50.7%
16	島根県	130.1	+ 10.5%	▲ 43.6%
17	愛媛県	137.9	+ 7.3%	▲ 35.6%
18	福岡県	93.2	+ 6.9%	▲ 37.4%
19	宮崎県	130.1	+ 6.4%	▲ 31.5%
20	山口県	141.7	+ 5.9%	▲ 37.9%
21	東京都	42.8	+ 5.7%	▲ 55.0%
22	大分県	132.1	+ 4.6%	▲ 35.4%
23	神奈川県	61.9	+ 3.0%	▲ 55.4%
24	沖縄県	74.3	+ 2.8%	▲ 46.3%
25	栃木県	104.5	+ 2.3%	▲ 52.5%
26	高知県	155.8	+ 2.2%	▲ 33.0%
27	鳥取県	139.6	+ 2.0%	▲ 50.8%
28	北海道	151.1	+ 1.8%	▲ 43.2%
29	千葉県	75.8	+ 1.6%	▲ 54.2%
30	群馬県	114.1	+ 0.8%	▲ 50.1%
31	長野県	154.5	+ 0.7%	▲ 49.9%
32	埼玉県	66.4	+ 0.4%	▲ 57.3%
33	香川県	105.1	▲ 1.8%	▲ 44.4%
34	愛知県	62.7	▲ 2.0%	▲ 51.5%
35	茨城県	93.3	▲ 2.5%	▲ 53.6%
36	岡山県	103.3	▲ 2.7%	▲ 45.9%
37	徳島県	130.7	▲ 3.6%	▲ 45.8%
38	静岡県	83.5	▲ 6.7%	▲ 57.7%
39	岐阜県	115.5	▲ 7.3%	▲ 51.9%
40	大阪府	51.8	▲ 8.6%	▲ 54.7%
41	山梨県	114.8	▲ 10.4%	▲ 57.9%
42	兵庫県	75.1	▲ 13.2%	▲ 52.9%
43	奈良県	88.7	▲ 15.4%	▲ 48.2%
44	滋賀県	82.6	▲ 16.5%	▲ 53.9%
45	三重県	73.1	▲ 16.8%	▲ 56.5%
46	京都府	68.4	▲ 20.5%	▲ 53.9%
47	和歌山県	100.2	▲ 21.0%	▲ 51.3%

< 2019年同期比順 >

順位	地域	2023年 お盆	前年比・2019年 同期比	
			前年比	2019年 同期比
1	宮崎県	130.1	+ 6.4%	▲ 31.5%
2	高知県	155.8	+ 2.2%	▲ 33.0%
3	熊本県	131.0	+ 12.1%	▲ 34.1%
4	鹿児島県	121.8	+ 15.2%	▲ 35.1%
5	大分県	132.1	+ 4.6%	▲ 35.4%
6	愛媛県	137.9	+ 7.3%	▲ 35.6%
7	広島県	118.8	+ 11.5%	▲ 36.4%
8	福岡県	93.2	+ 6.9%	▲ 37.4%
9	山口県	141.7	+ 5.9%	▲ 37.9%
10	北海道	151.1	+ 1.8%	▲ 43.2%
11	島根県	130.1	+ 10.5%	▲ 43.6%
12	長崎県	130.7	+ 16.1%	▲ 43.7%
13	青森県	169.0	+ 38.9%	▲ 44.0%
14	佐賀県	103.6	+ 12.7%	▲ 44.0%
15	香川県	105.1	▲ 1.8%	▲ 44.4%
16	新潟県	147.7	+ 19.4%	▲ 44.7%
17	福島県	139.9	+ 14.1%	▲ 44.9%
18	岩手県	151.2	+ 15.1%	▲ 45.1%
19	徳島県	130.7	▲ 3.6%	▲ 45.8%
20	岡山県	103.3	▲ 2.7%	▲ 45.9%
21	富山県	135.6	+ 13.1%	▲ 46.0%
22	山形県	160.5	+ 34.9%	▲ 46.1%
23	宮城県	112.0	+ 14.8%	▲ 46.1%
24	沖縄県	74.3	+ 2.8%	▲ 46.3%
25	秋田県	165.6	+ 44.1%	▲ 46.5%
26	奈良県	88.7	▲ 15.4%	▲ 48.2%
27	福井県	141.0	+ 11.6%	▲ 49.2%
28	長野県	154.5	+ 0.7%	▲ 49.9%
29	群馬県	114.1	+ 0.8%	▲ 50.1%
30	石川県	114.6	+ 11.5%	▲ 50.7%
31	鳥取県	139.6	+ 2.0%	▲ 50.8%
32	和歌山県	100.2	▲ 21.0%	▲ 51.3%
33	愛知県	62.7	▲ 2.0%	▲ 51.5%
34	岐阜県	115.5	▲ 7.3%	▲ 51.9%
35	栃木県	104.5	+ 2.3%	▲ 52.5%
36	兵庫県	75.1	▲ 13.2%	▲ 52.9%
37	茨城県	93.3	▲ 2.5%	▲ 53.6%
38	京都府	68.4	▲ 20.5%	▲ 53.9%
39	滋賀県	82.6	▲ 16.5%	▲ 53.9%
40	千葉県	75.8	+ 1.6%	▲ 54.2%
41	大阪府	51.8	▲ 8.6%	▲ 54.7%
42	東京都	42.8	+ 5.7%	▲ 55.0%
43	神奈川県	61.9	+ 3.0%	▲ 55.4%
44	三重県	73.1	▲ 16.8%	▲ 56.5%
45	埼玉県	66.4	+ 0.4%	▲ 57.3%
46	静岡県	83.5	▲ 6.7%	▲ 57.7%
47	山梨県	114.8	▲ 10.4%	▲ 57.9%

注) 各地域・各期間における日次おでかけ指数（原数値）の平均値

注) 2023年8月20日までのデータによる推計値

資料) 九経調 DATASALAD

3. 夏休み期間の市区町村別おでかけ指数ランキング：

夏休み期間における市区町村別おでかけ指数（前年比・2019年同期比）の上位（全国：上位40、九州・沖縄・山口：上位20）を掲載している（表7、表8）。

前年比が最も高かったのは石川県野々市市（前年比+164.9%）で、以下熊本県益城町（同+104.5%）、福井県美浜町（同+93.5%）と続く。九州・沖縄・山口では益城町以下は対馬市（同+66.5%）、中間市（同+61.4%）と続く。熊本県では益城町のほか、高森町、菊陽町、熊本市東区なども上位に位置しており、半導体関連を含む工場立地・設備投資が観光にもプラスの影響を及ぼしていると考えられる。また、対馬市のほか、新上五島町、壱岐市など離島人気もゴールデンウィーク時から継続している。

2019年同期比が最も高かったのは福井県南越前町（2019年同期比+41.9%）で、以下熊本県高森町（同+36.2%）、広島県安芸高田市（同+31.2%）と続く。九州・沖縄・山口で最も高かった高森町では、7月15日、同町を終点とする南阿蘇鉄道が7年ぶりに全線復旧しており、夏休みの観光人流にプラスの効果となった。

表7 夏休み期間市区町村別ランキング（前年比、全国、九州・沖縄・山口）

全国順位

順位	市区町村名	前年比
1	石川県野々市市	164.9%
2	熊本県益城町	104.5%
3	福井県美浜町	93.5%
4	長崎県対馬市	66.5%
5	福井県あわら市	63.6%
6	福岡県中間市	61.4%
7	熊本県高森町	54.9%
8	兵庫県太子町	49.7%
9	山形県小国町	48.6%
10	群馬県甘楽町	44.1%
11	東京都稲城市	43.5%
12	埼玉県八潮市	40.3%
13	福井県勝山市	39.1%
14	山形県上山市	38.7%
15	宮城県白石市	38.4%
16	山形県米沢市	38.3%
17	岐阜県関ヶ原町	37.0%
18	島根県奥出雲町	35.9%
19	長野県立科町	35.7%
20	愛知県長久手市	35.3%

九州・沖縄・山口順位

順位	市区町村名	前年比
21	長野県岡谷市	34.3%
22	山梨県市川三郷町	33.0%
23	福島県西郷村	32.4%
24	大阪市東淀川区	31.1%
25	新潟市秋葉区	31.0%
26	さいたま市緑区	30.8%
27	青森県中泊町	30.4%
28	埼玉県行田市	30.4%
29	熊本県菊陽町	30.4%
30	島根県安来市	30.3%
31	新潟市北区	30.3%
32	大阪府堺市中区	30.0%
33	青森県深浦町	29.9%
34	長崎県新上五島町	29.4%
35	千葉市美浜区	29.0%
36	栃木県足利市	29.0%
37	熊本市東区	28.4%
38	青森県むつ市	28.0%
39	広島県廿日市市	27.8%
40	宮崎県西都市	27.8%
1	熊本県益城町	104.5%
2	長崎県対馬市	66.5%
3	福岡県中間市	61.4%
4	熊本県高森町	54.9%
5	熊本県菊陽町	30.4%
6	長崎県新上五島町	29.4%
7	熊本市東区	28.4%
8	宮崎県西都市	27.8%
9	熊本県荒尾市	25.9%
10	熊本市中央区	25.5%
11	佐賀県武雄市	24.6%
12	長崎県東彼杵町	23.0%
13	長崎県南島原市	22.8%
14	福岡県みやこ町	18.2%
15	長崎県壱岐市	18.0%
16	宮崎県都城市	17.8%
17	鹿児島県志布志市	17.2%
18	宮崎県高鍋町	16.9%
19	熊本県八代市	15.5%
20	佐賀県吉野ヶ里町	15.2%

注) 各地域・各期間における日次おでかけ指数（原数値）の平均値

注) 基準期間における観光来訪者数が閾値以上の市区町村（全国：1,333市区町村、九州・沖縄・山口：199市区町村）によるランキング

注) 2023年8月20日までのデータによる推計値

資料) 九経調 DATASALAD

表8 夏休み期間市区町村別ランキング（2019年同期比、全国、九州・沖縄・山口）

全国順位

順位	市区町村名	2019年 同期比
1	福井県南越前町	41.9%
2	熊本県高森町	36.2%
3	広島県安芸高田市	31.2%
4	神奈川県南足柄市	17.7%
5	福岡県糸田町	15.5%
6	福井県美浜町	9.8%
7	北海道恵庭市	5.4%
8	福岡県うきは市	2.2%
9	熊本県大津町	▲0.4%
10	千葉県神崎町	▲2.0%
11	熊本県西原村	▲2.5%
12	青森県中泊町	▲2.9%
13	奈良県平群町	▲3.5%
14	福島県伊達市	▲4.3%
15	長崎県対馬市	▲5.0%
16	岐阜県関ヶ原町	▲5.3%
17	宮城県大郷町	▲6.4%
18	岐阜県揖斐川町	▲6.7%
19	宮城県西都市	▲7.4%
20	広島県北広島町	▲8.6%

九州・沖縄・山口順位

順位	市区町村名	2019年 同期比
21	福島県塙町	▲9.1%
22	熊本県阿蘇市	▲9.5%
23	北海道大樹町	▲10.1%
24	石川県能登町	▲10.2%
25	愛媛県伊方町	▲10.3%
26	岩手県陸前高田市	▲11.0%
27	福島県檜葉町	▲11.4%
28	北海道別海町	▲12.0%
29	高知県土佐清水市	▲12.4%
30	香川県宇多津町	▲12.4%
31	新潟県五泉市	▲12.5%
32	三重県大台町	▲12.8%
33	長崎県東彼杵町	▲13.0%
34	青森県横浜町	▲13.2%
35	広島県神石高原町	▲13.3%
36	青森県つがる市	▲13.4%
37	高知県中土佐町	▲13.5%
38	北海道むかわ町	▲13.8%
39	北海道新ひだか町	▲13.8%
40	北海道名寄市	▲13.9%

順位	市区町村名	2019年 同期比
1	熊本県高森町	36.2%
2	福岡県糸田町	15.5%
3	福岡県うきは市	2.2%
4	熊本県大津町	▲0.4%
5	熊本県西原村	▲2.5%
6	長崎県対馬市	▲5.0%
7	宮城県西都市	▲7.4%
8	熊本県阿蘇市	▲9.5%
9	長崎県東彼杵町	▲13.0%
10	熊本県益城町	▲14.4%
11	大分県竹田市	▲14.6%
12	福岡県みやこ町	▲16.1%
13	鹿児島県長島町	▲17.1%
14	福岡県宮若市	▲17.3%
15	長崎県松浦市	▲17.7%
16	福岡県豊前市	▲19.3%
17	佐賀県吉野ヶ里町	▲19.3%
18	福岡県筑前町	▲19.6%
19	熊本県菊陽町	▲19.9%
20	鹿児島県いちき串木野市	▲20.9%

注) 各地域・各期間における日次おでかけ指数（原数値）の平均値

注) 基準期間における観光来訪者数が閾値以上の市区町村（全国：1,333市区町村、九州・沖縄・山口：199市区町村）によるランキング

注) 2023年8月20日までのデータによる推計値

資料) 九経調 DATASALAD

渡辺 隼矢（事業開発部 研究主査）

E-mail: jwatanabe@kerc.or.jp

参考：おでかけ指数の定義・算出方法

おでかけ指数は、市区町村別の人流をコロナ禍前の 2019 年を基準に指数化したものである。これを、来訪地側（着地側。ある市区町村への来訪者数）と、発地側（ある市区町村（居住地域とみなされる市区町村）からの出発者数）の双方について算出している。具体的には、以下のようなルールである（試作版のため、今後変更の可能性がある）。

①対象期間、公表時期

来訪地側・発地側とも 2019 年 1 月以降である。おでかけウォッチャー（以下、OW）と同じく、毎週月～日曜日のデータを翌木曜日に公表する。

②モニタリングスポット、市区町村ごとのユニーク化

OW では、各市区町村につき最大 20 地点をモニタリングスポットとして設定し、それらの地点のいずれかを訪れた人数を市区町村別来訪者数として算出している（複数地点を訪れた場合も 1 人とカウント）。来訪地側（着地側）のおでかけ指数で用いるのは、この市区町村別来訪者数である。また発地側は同じデータを発地側で集計した人数を基としている。

OW では各市区町村（基礎自治体）がモニタリングスポットを任意の地点に変更できるサービスとしているが、おでかけ指数ではデータの連続性を保つ観点から、OW のリリース時点（2021 年 10 月）に九経調がデフォルトとして設定したスポット（※）を対象としている。

※各市区町村において来訪者数（2019 年のゴールデンウィークにおける 250m メッシュ別の来訪者数）が上位 20 のメッシュを選定した。ただし、選定の際には、より上位のメッシュと隣接（メッシュ中心間の距離が 500m 以内）するメッシュは除外した。

③人流計測の条件

すべての人流が来訪および出発としてカウントされるのではなく、居住地域とみなされる場所から 20km 以上離れた場所で位置情報が一定時間検出された場合、かつそれが通勤・通学のような日常的な訪問地ではない場合という条件がある。

④指数算出地域

②の通り市区町村別にユニーク化した人数を基礎に指数を算出しているため、厳密には市区町村別の指数を参照いただきたい。ただ、より上位スケールの地域間比較等のニーズもあるため、市区町村別の人数を足し上げて都道府県や地域ブロック別の人数を算出し、それをもとにこれらの地域別の指数も公表している。

⑤算出方法

各地域（市区町村や都道府県等）について、2019 年の 1 日当たり平均人数を 100 として、各日の人数を指数化したものを原数値とする。そのうえで、人流には曜日による変動が大きい特徴があり、原数値のままではトレンドをとらえにくいことから、原数値を 7 日間周期のデータとみなし、トレンド成分（中長期的変動）、曜日成分（曜日による変動）、イベント成分（天候やイベント（催事）等による短期的変動。他の 2 つの残差）の 3 つに要因分解を行うことで、トレンド値および曜日調整値を得る。各数値の計算方法・等式は以下の通りである。

原数値 = (各日人数 ÷ 2019 年の 1 日当たり平均人数) × 100 日次（原数値）

トレンド値 = トレンド成分 = 原数値 - 曜日成分 - イベント成分

曜日調整値 = 原数値 - 曜日成分

⑥一部地域の算出除外

位置情報ビッグデータは個人特定がなされないように抽象化処理がなされたものであり、その過程で閾値未満の人流は秘匿されるため、来訪者数・出発者数のカウントから除外される。したがって、来訪者数・出発者数が毎日計測されていない一部地域（離島等）が存在する。このような地域について⑤のような手法による指数化は、ブレが大きくなるなど必ずしも適切でないため、2019 年において来訪者数・出発者数が計測される日が 180 日未満の自治体については指数を算出しない。